



43年前の新聞が出てきたぞ！



母屋の掃除をしていたら出てきたそうです。昭和50年2月14日の週刊サッシニュース(週刊っていうのもスゴイです。)ちょうど株式会社に変わる時の記事です。「フロントは三島さんのところと言われるくらいの事を目標とします」「別注品を即納するというモットーを行動で示している」というコメントが。会長を始め、先輩先人の皆様には感謝がありません。有難うございます！

技能実習生の技能試験が行われました



カーとソンの技能試験が三島硝子建材を会場として行われました。判定員はタナベサッシの親方、田辺さんにお願ひしました。先生はこの方、写真右の立花先生です。無事行われて合格となりました。

ビリヤードはベトナムにもあります



なかなかええ感じでしょ？ さぁ腕前のほどはいかに？ 竜馬くん連れられてビリヤード場に来た4人。この後、健太くんにも連れて行ってもらったそうですよ。

木鶏会は笑顔いっぱい

三島硝子建材の木鶏会は笑顔がいっぱいです。



雑誌「致知」を読んで、ただただ感想を言い合います。たったそれだけのことなんですが、致知にのっている言葉は、遠い昔から人間が気が遠くなるような時間、繰り返し繰り返し悩み失敗してきた経験から出てきたものばかりです。木鶏会では3つの課題記事を指定しますが、他の記事にも、悩んでいる時にすごい気付きを促してくれるものがあります。

今の世の中、新しいものが湧くように生まれ続けますが、後先考えずに目先の利益だけに流れが動いていく時に事件は起こります。目先の利益ではなく「人間として正しい判断」をこの雑誌から教えてもらうことが多いです。「そんなきれいごとやん」って思うことも毎回それに触れると当たり前になります。会社では挨拶も毎回してるのもう誰も昔のような抵抗はありません。事務員さんは全員お客様が帰られる時も今では、立ち上がって挨拶してくれます。良いことも悪いことも努力することも怠けることも、やり続けると当たり前になる。木鶏会をする時、忙しい中でできるのか、抵抗はないのか心配だったことを思い出します。



毎日、昼一番に日本語の勉強をするカーとソン。仕事の他に日本語の宿題が毎日のやることの一つ。どんなに仕事が遅くても毎日続けてやります。今、日本人は外国人実習生の受け入れについて議論しています。この子たちに恥ずかしくない大人で居れるように、それだけでなく守れるように勉強していこうと思います。

会長のドヤ顔食堂 in 会社屋上バーベキューの巻



先日、みしま食堂、会長のドヤ顔食堂バージョンでジンギスカンをふるまってくれました。今回、ほんまは屋上でやりたかってんと屋上BBQを開催することに。太陽はジリジリくるし、これは昼からビールやなくてなくらいの雰囲気でした。みんなが揃って話すことはそんなないことなので本当に嬉しかった。会長ありがとう。

